

大気汚染の自主的調査活動の重要性について ～兵庫県空気の汚れ調査 2018 を終えて～

東灘区・東神戸病院 森岡 芳雄（医師）

大気汚染物質を自主的に測定することには幾多の意義があります。

ここ数年、確かにSO_x、NO_x、浮遊粉塵による大気汚染は軽減してきておりますが、それは景気の低迷、産業の空洞化によるところが大きく、NO₂の低減は緩やかであり、未だに兵庫県南東部を中心に改悪後の環境基準さえ守れていない地域が存在しています。

2018年度の兵庫県空気の汚れ調査は、2018年6月14-15日に渡って行われました。2010年度から兵庫保険医協会参加検体の分析を個別に開始して、今年で9年目になります。神鋼が130万Kwの石炭火力発電所の増設計画を市民、県民を欺きながら、着々と進め、工事着工申請まで行っています。

過去8年間の結果と比較しながら今年の測定結果についてご報告させていただくとともに、神鋼石炭火力発電所増設計画の現状についてもご報告させていただきたいと思っております。